

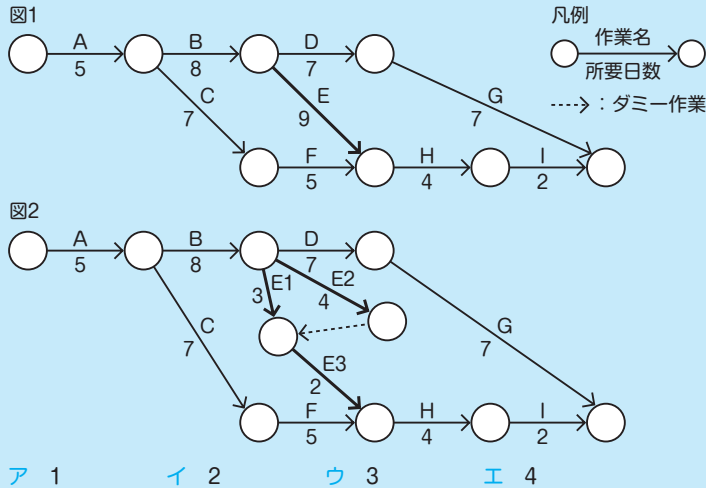


このように出題されています 過去問題練習と解説

問 1

(FE-H23-S-51)

ファストトラッキング技法を用いてスケジュールの短縮を行うと当初の計画は図1のとおりである。作業Eを作業E1, E2, E3に分けて、図2のように計画を変更すると、スケジュールは全体で何日短縮できるか。



解説

正解：ア

図1の全パスの所要日数を計算すると下記になります。

- ①：A → B → D → G … 5 + 8 + 7 + 7 = 27日
- ②：A → B → E → H → I … 5 + 8 + 9 + 4 + 2 = 28日
- ③：A → C → F → H → I … 5 + 7 + 5 + 4 + 2 = 23日

最も所要日数が多いのは、②の28日です。したがって、②がクリティカルパスです。

図2の全パスの所要日数を計算すると下記になります。

- ④：A → B → D → G … 5 + 8 + 7 + 7 = 27日
- ⑤：A → B → E2 → E3 → H → I … 5 + 8 + 4 + 2 + 4 + 2 = 25日
 (ダミー作業があるので、E3はE1とE2の両方が終わらないと開始できません。E1(3日)よりE2(4日)のほうが長い日数なので、E3のみを所要日数に加算します)
- ⑥：A → C → F → H → I … 5 + 7 + 5 + 4 + 2 = 23日

最も所要日数が多いのは、④の27日です。したがって、④がクリティカルパスです。

図1を図2に変更すると、②の28日 - ④の27日 = 1日短縮されます。